

第3回 基本計画等策定委員会 利用者アンケート集計結果について



令和 2年 12月 21日

目次

1. 調査概要

2. 集計結果

3. 総括

1. 調査概要

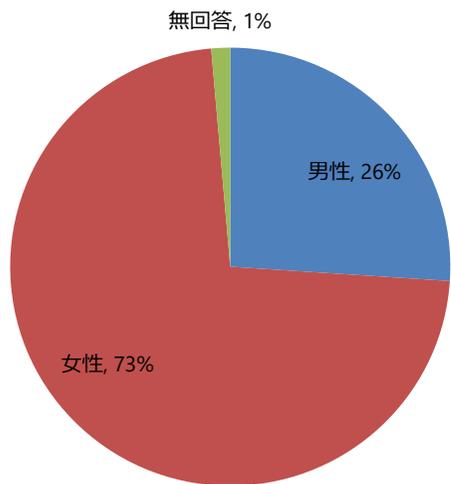
調査対象者	保健センター、旧町保健センター、休日夜間急病診療所の利用者						
調査方法	窓口配布、窓口・郵送回収						
調査実施期間	令和2年10月12日～令和2年10月31日						
回収結果	配布数：1,424 回収数：1,156 回収率：約81.2%						
調査項目	I. あなたご自身について		問 1	性別	n=1,156		
			問 2	年齢	n=1,156		
			問 3	職業	n=1,156		
			問 4	住所	n=1,156		
			問 5	妊娠・障害	n=1,156		
			問 6	同居家族	n=1,109		
	II. 「豊川市総合保健センター（仮称）」について		II-1 健康増進の推進		問 7	健康づくりについて	n=991
			II-2 「日本一子育てしやすいまち」を実現するための保健センター		問 8	子育て支援について	n=955
					問 9	妊産婦ケアについて	n=902
			II-3 地域医療への貢献		問 10	救急医療機関について	n=1,072
					問 11	救急医療機関選択理由	n=1,037
			II-4 その他		問 12	欲しい施設について	n=1,040
					問 13	継続希望事業について	n=1,043
					問 14	旧町保健センターについて	n=1,020
	III. 自由意見		問 15	交通手段について	n=1,031		
			問 16	その他ご意見、ご要望等	-		

※n値（回答者数）については、項目単位で未回答者がいるため、回答数にずれあり

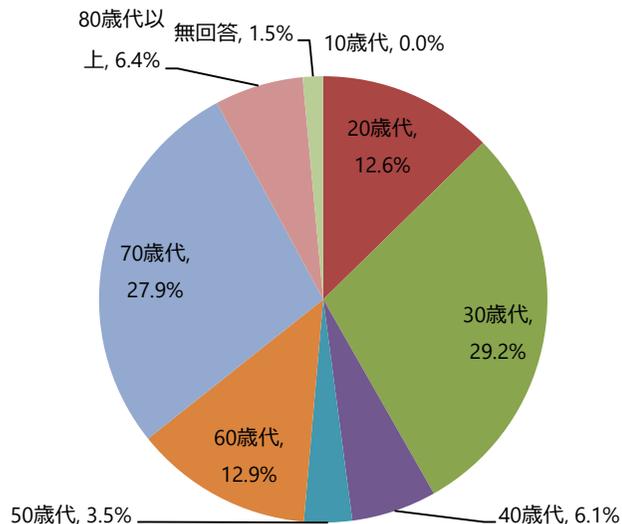
2. 集計結果

I. あなたご自身について

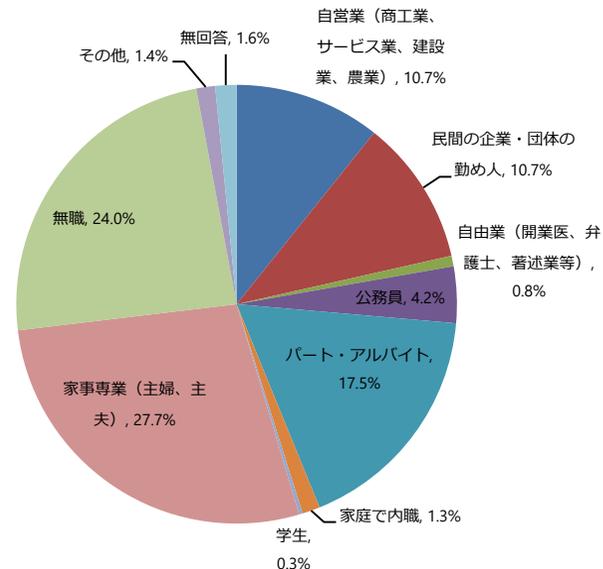
問1：性別 n=1,156



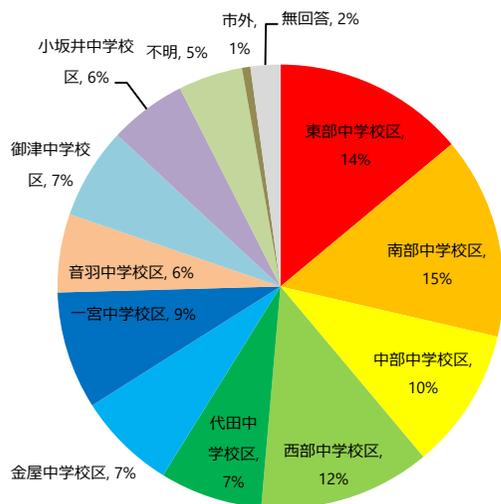
問2：年齢 n=1,156



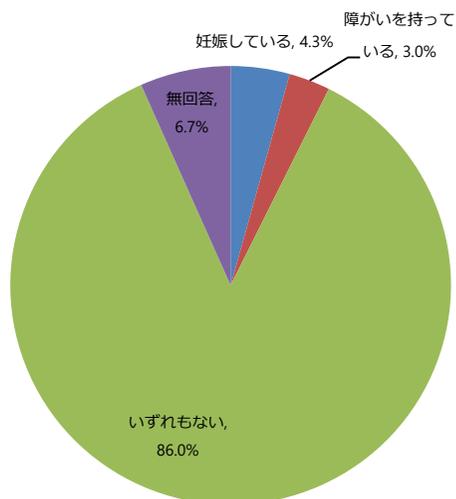
問3：職業 n=1,156



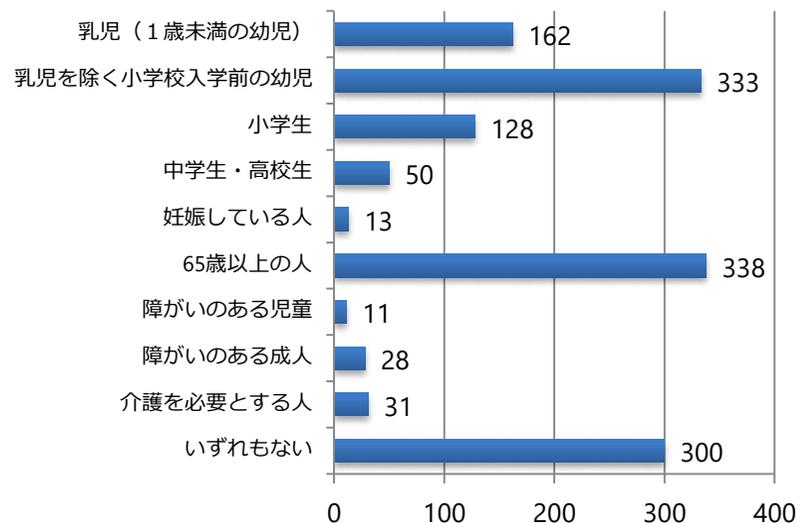
問4：住所 n=1,156



問5：妊娠・障害 n=1,156



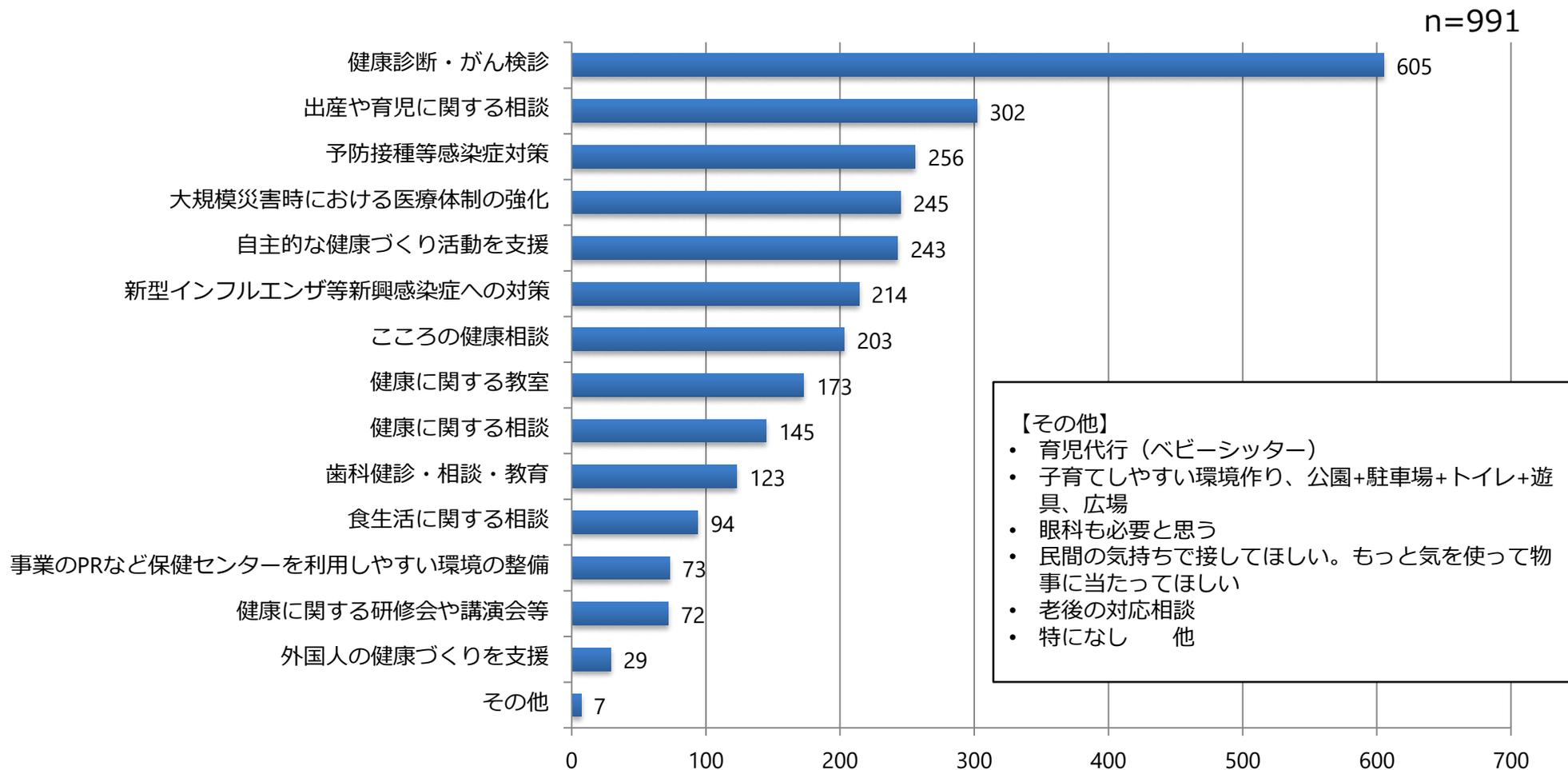
問6：同居家族 (複数回答) n=1,109



2. 集計結果

■ II. 「豊川市総合保健センター（仮称）」について II-1 健康増進の推進

問7：誰もが健やかにいきいきとくらするまちを実現するために、「新保健センター」が積極的に行うべき取り組みは何だと思われますか（複数回答）

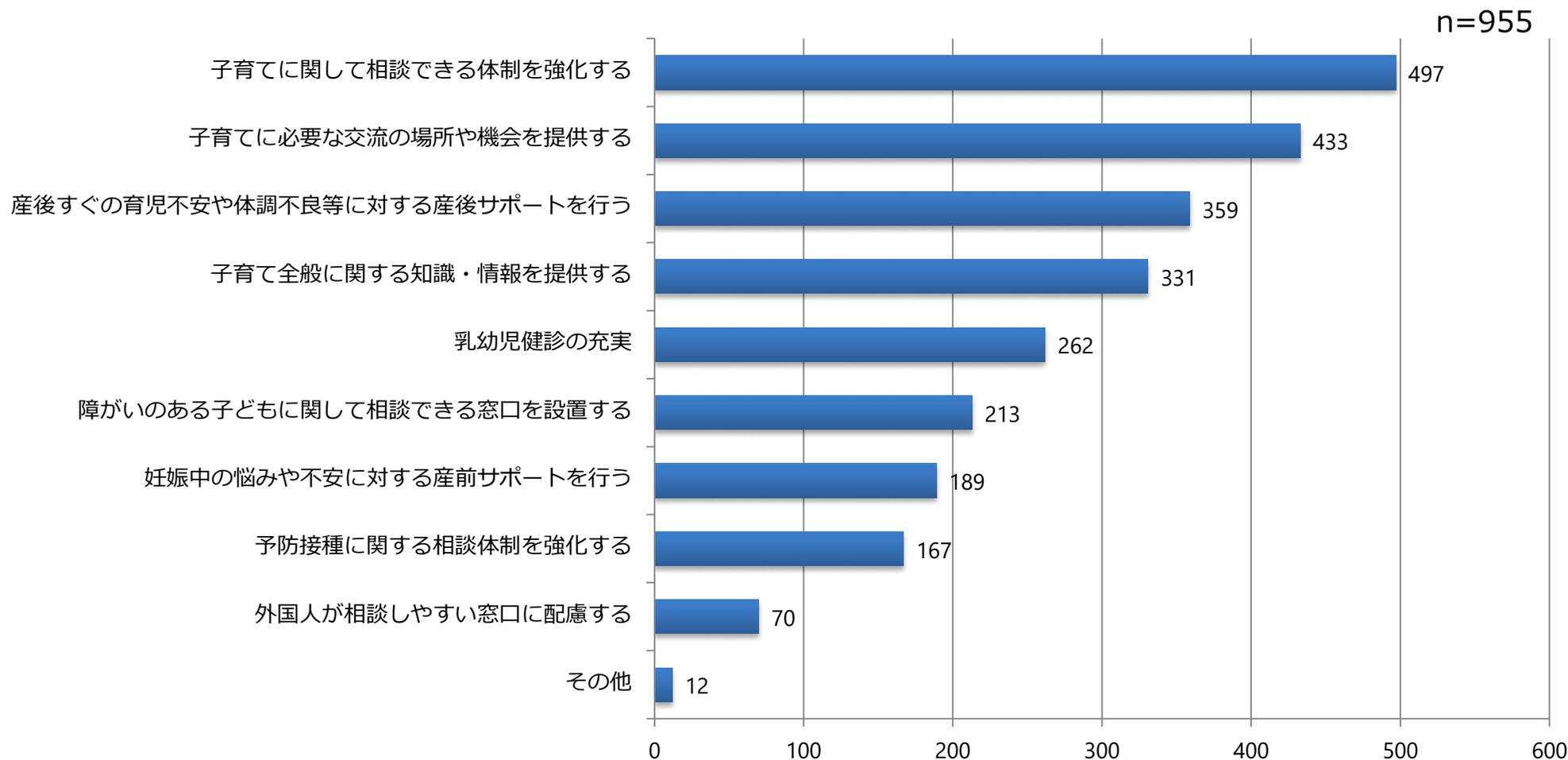


2. 集計結果

■ II. 「豊川市総合保健センター（仮称）」について

II-2 「日本一子育てしやすいまち」を実現するための保健センター

問8：子どもがいきいきと健やかに育つために、「新保健センター」が積極的に行うべき取り組みは何だと思われますか（複数回答）



2. 集計結果

■ II. 「豊川市総合保健センター（仮称）」について

II-2 「日本一子育てしやすいまち」を実現するための保健センター

問8：子どもがいきいきと健やかに育つために、「新保健センター」が積極的に行うべき取り組みは何だと思われますか（複数回答）

乳幼児健診における具体的な充実内容

- 健診を受けていない家庭のサポート（虐待を防ぐため）
- その月齢になった時の速やかな検査
- 発達に応じた健診
- 健診を増やす
- 全額補助
- 待ち時間を減らす
- 少人数制
- グレーの子や障がいが疑われる場合、病院との連携がとれるようにしてほしい。
- 体重の管理
- 発育状況 他

その他

- 乳幼児に限らず、子育て相談（小学生、中学生、思春期にも対応）
- ココニコのような屋内で子供が遊べる施設
- 一家庭に1人ベビーシッター
- 産院と連携する
- 不妊・不育症に対するサポート体制
- 働いてる親のためにも保健センターまで出かけなくても近くの場所（集会所）で休日でも相談できるようなシステムができると良い。
- 産後の職場復帰相談
- 子ども室内で遊ぶ広場
- このままでいいと思う 他

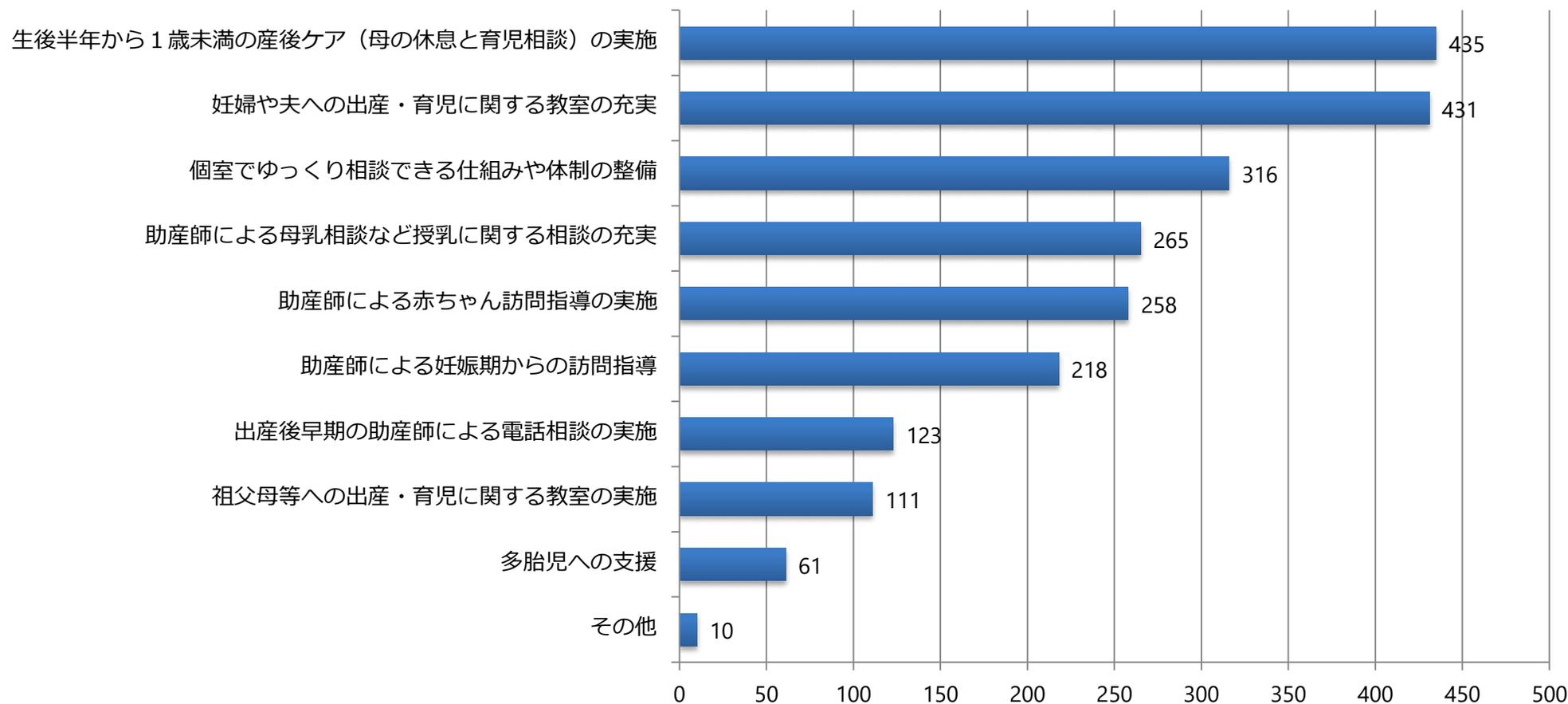
2. 集計結果

■ II. 「豊川市総合保健センター（仮称）」について

II-2 「日本一子育てしやすいまち」を実現するための保健センター

問9：「新保健センター」では、妊産婦ケアの機能を充実させる予定ですが、妊産婦支援に何を期待しますか（複数回答）

n=902



2. 集計結果

■ II. 「豊川市総合保健センター（仮称）」について

II-2 「日本一子育てしやすいまち」を実現するための保健センター

問9：「新保健センター」では、妊産婦ケアの機能を充実させる予定ですが、妊産婦支援に何を期待しますか（複数回答）

多胎児における具体的な支援内容

- 市から定期的に訪問など積極的に動いてあげて欲しい
- 外出しにくいので訪問して相談を受けることや、保育園への優先入園
- 妊娠中から注意点などの知識やサポート
- 母親の心のケア
- 夜間、祝日も支援
- 訪問&世話のヘルプ
- 母の睡眠
- 訪問指導
- ヘルパー

その他

- 産後心のケア
- 優先的にすぐ保育園に入園できる
- 第三者からの夫への教育
- 主人への教育
- 妊婦、乳児育児家庭の利用できるサービス斡旋・充実（家事サポなど）
- 仕事してても参加しやすい日曜に教室を開く
- 上の子の送迎などのサポート
- 何もいない

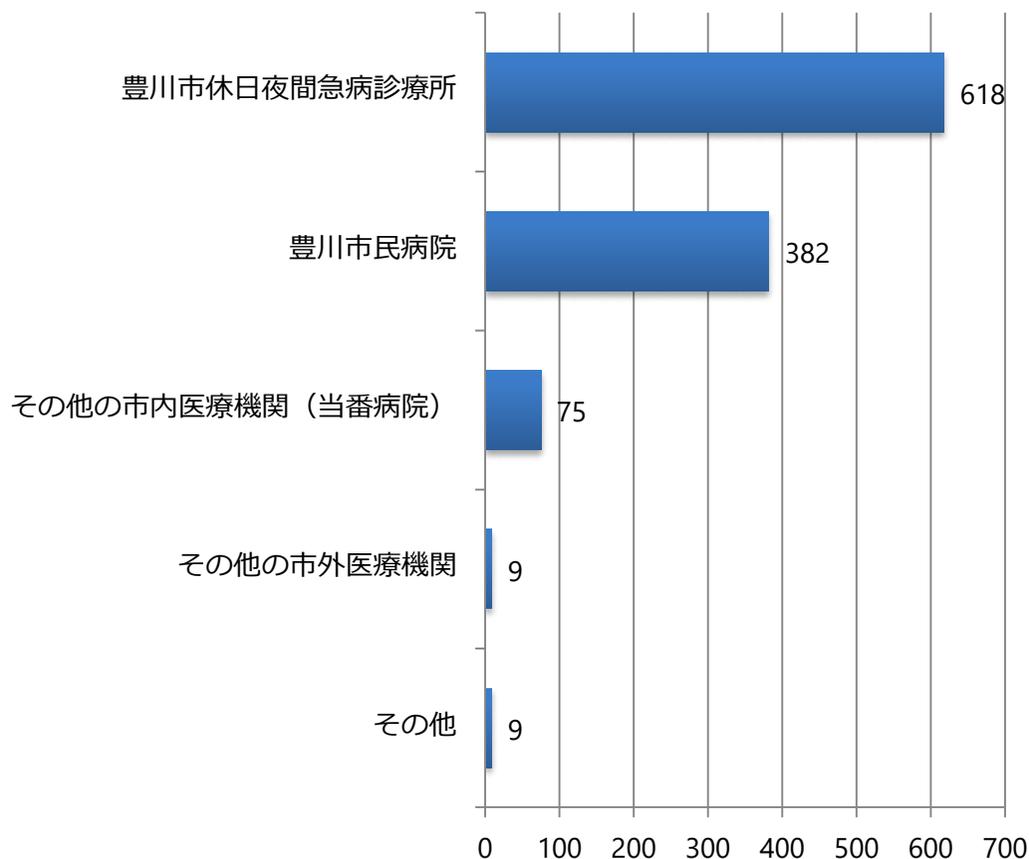
2. 集計結果

■ II. 「豊川市総合保健センター（仮称）」について

II-3 地域医療への貢献

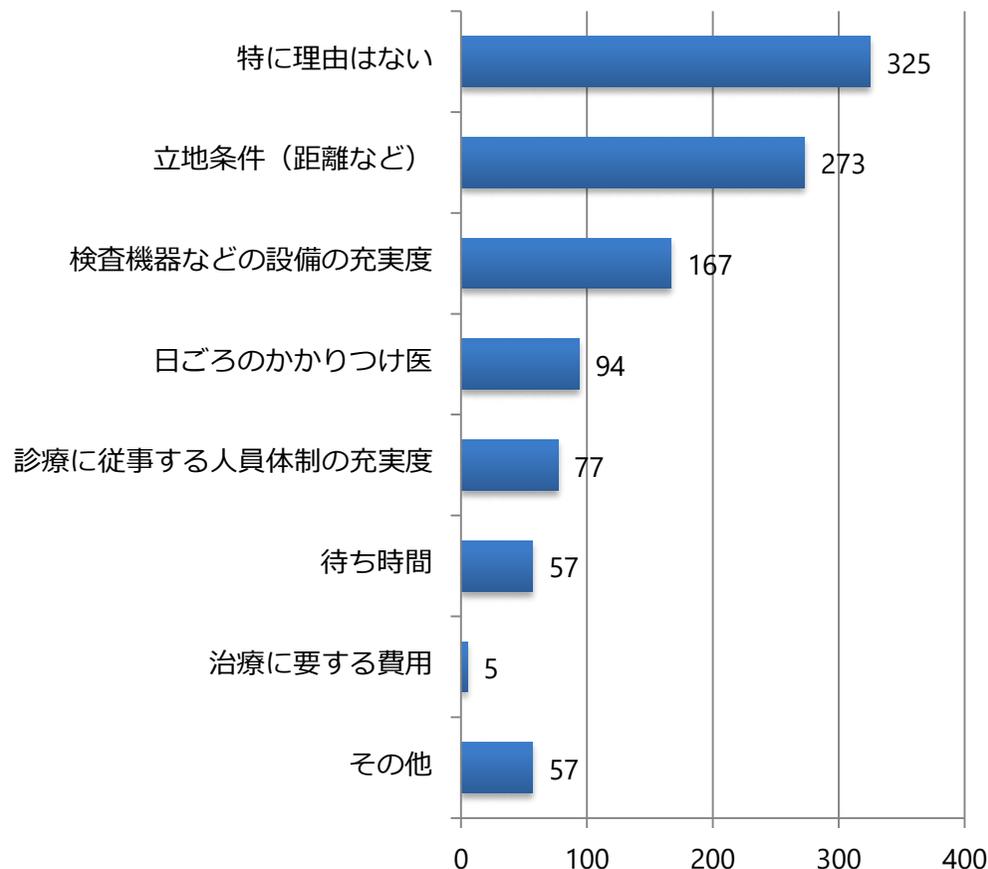
問10：夜間や休日に、救急車を呼ぶほどではないが発熱や腹痛等で医療が必要なとき、どの医療機関を選択しますか

n=1,072



問11：その医療機関を選択した最も大きな理由は何ですか

n=1,037



2. 集計結果

■ II. 「豊川市総合保健センター（仮称）」について

II-3 地域医療への貢献

問10：夜間や休日に、救急車を呼ぶほどではないが発熱や腹痛等で医療が必要なとき、どの医療機関を選択しますか

その他

- 様子を見る
- 電話で県のこども医療に相談
- かかりつけ医
- しばらく様子を見る（例：夜なら朝まで待つ）
- 専門医が当直でない場合、他の機関を探してしまう。
- 救急の電話をして様子を見る。
- 引っ越したばかりでよくわかっていない 他

問11：その医療機関を選択した最も大きな理由は何ですか

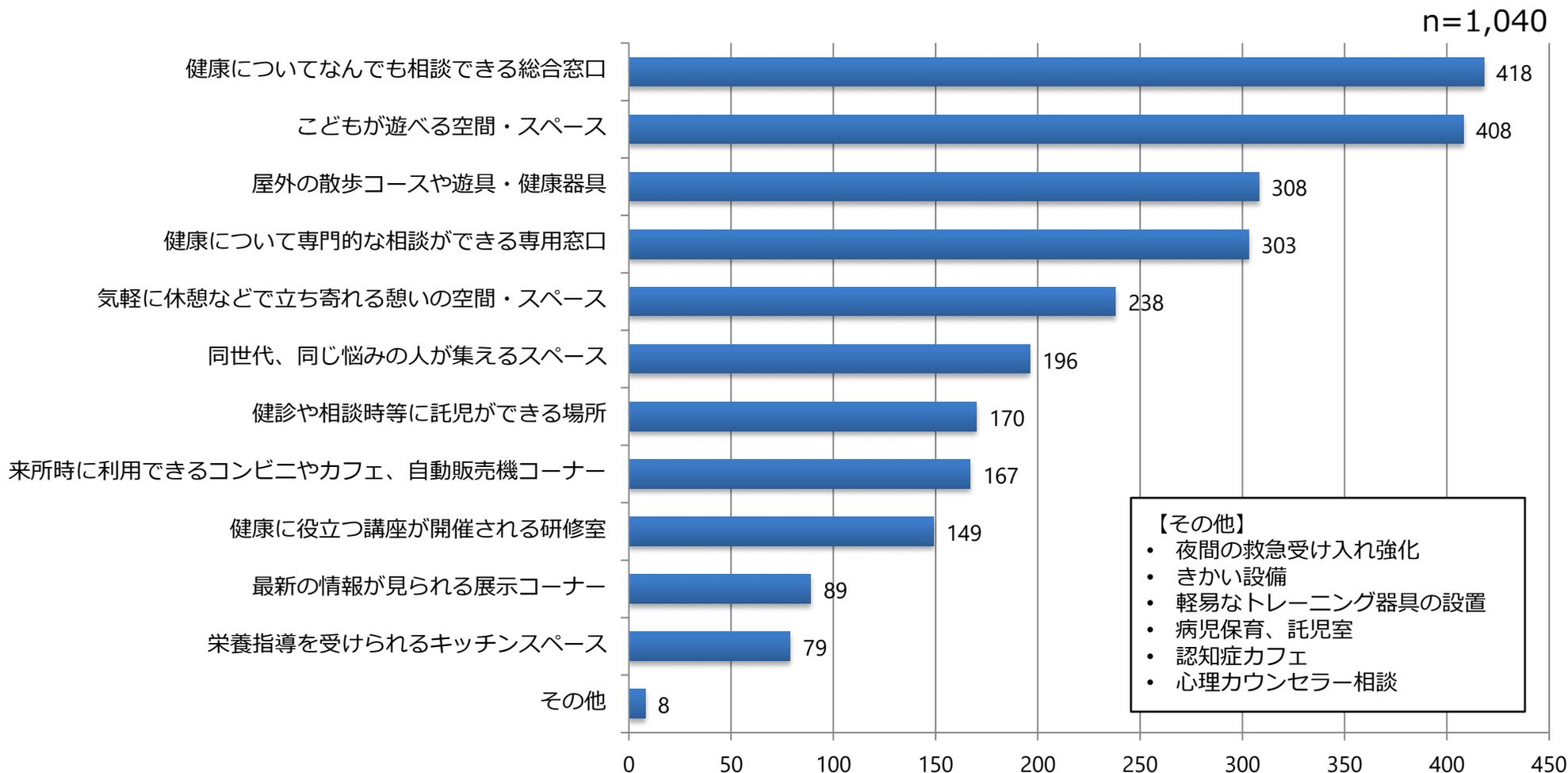
その他

- そこしか知らない、そこしかない 41件
- 体制や診察時間 8件
- 安心・信頼 2件
- 次の状態を考えて
- 出産場所
- 優先順位で判断
- そうあってほしいと市が願っている
- 問10のためにあると考える

2. 集計結果

■ II. 「豊川市総合保健センター（仮称）」について II-4 その他

問12：「新保健センター」にあって欲しい施設は何ですか。（複数回答）

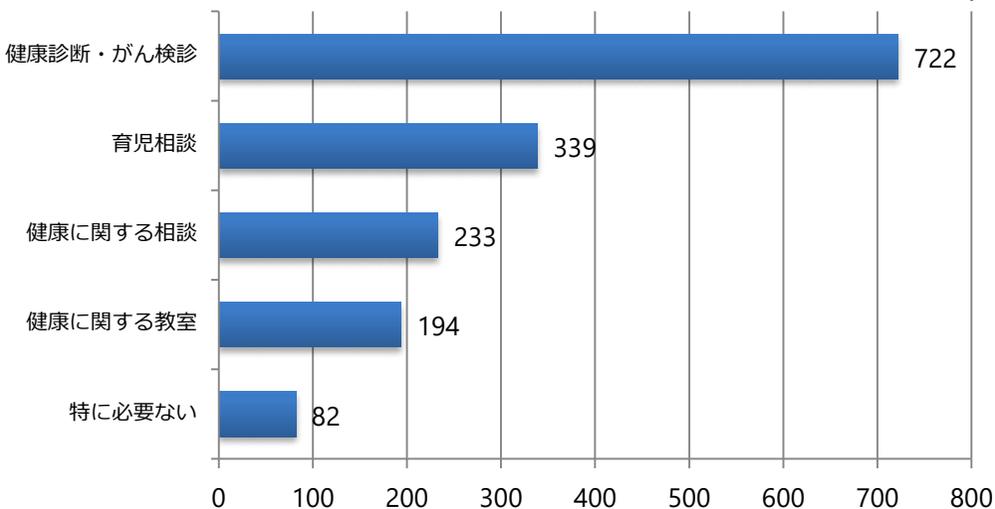


2. 集計結果

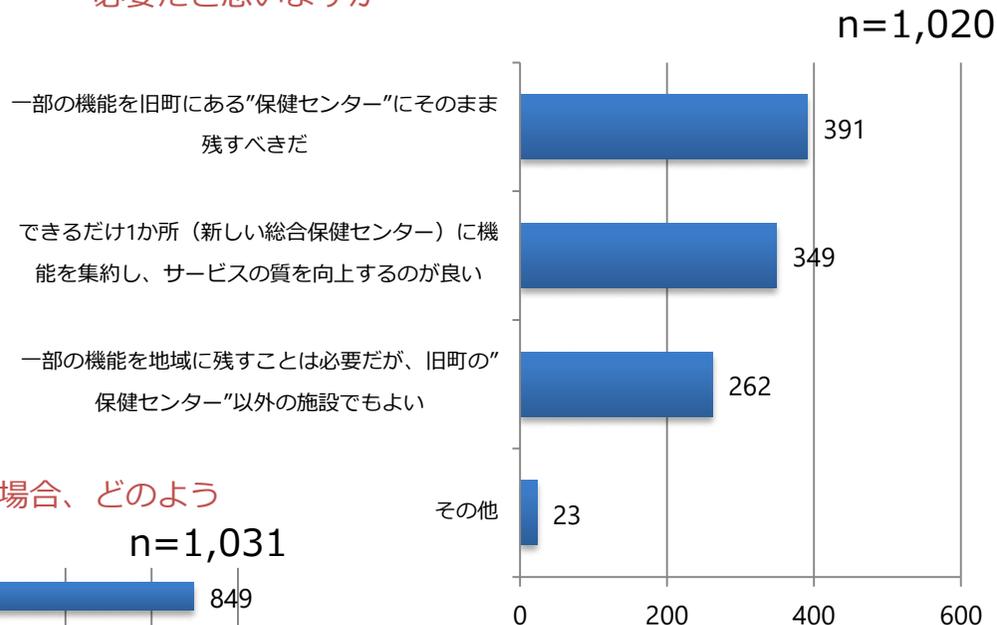
■ II. 「豊川市総合保健センター（仮称）」について

II-4 その他

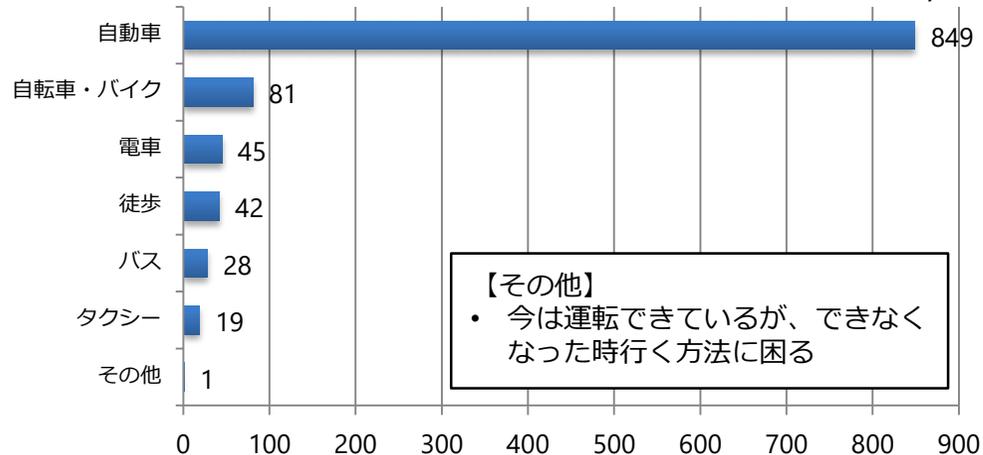
問13：「新保健センター」の開設後、既存事業のうち、地区市民館等あなたの身近な場所に残してほしい事業（複数回答） n=1,043



問14：多機能な「新保健センター」がオープンした後、健康福祉センター（旧一宮町）、音羽福祉保健センター（旧音羽町）、御津福祉保健センター（旧御津町）の保健センター機能は必要だと思いますか



問15：あなたがもし「新保健センター」を利用する場合、どのような交通手段を利用すると思われますか n=1,031



【その他】
 ・今は運転できているが、できなくなった時行く方法に困る

2. 集計結果

■ II. 「豊川市総合保健センター（仮称）」について

II-4 その他

問14：多機能な「新保健センター」がオープンした後、健康福祉センター（旧一宮町）、音羽福祉保健センター（旧音羽町）、御津福祉保健センター（旧御津町）の保健センター機能は必要だと思いますか

その他

- 詳しくないので分からない
- 車を運転できるうちは良いが乗れなくなったら身近にあると便利、安心
- 高齢になるほど、遠くでは利用できない
- 近くに必要です
- 行ったことない
- 老人は車で行けない人も多い
- 機能を集約するのは管理しやすいだろうが、地域住民にとっては利用しにくくなります。
- 全ての機能アップを目指すべき
- 使用したことがないので分からない（旧各町以外に在住のため）
- 市民にスペースを貸し、生涯学習に活かす
- 集約して良いと思うが、その場合は交通手段を充実させてほしい
- 利用したことがないので分からない。今まで利用してきた人の意見を尊重すべき
- 家からどれも遠いのでよくわからない。しかし近くにないとなかなかいかないと思う
- 足がよければ遠くへいきたい
- 今のコロナ禍で診療を控える人が増えているのと同じ結果になる。（距離、待ち時間は大きなネック）
- 高齢になれば近くのセンターしか利用できない
- 年老いて車に乗れなくなるから 他

2. 集計結果

■ Ⅲ. 自由意見

- 別紙参照

3. 総括

■ 豊川市総合保健センター（仮称）整備に向けた総括

【健康増進への取り組み】

- 「健康診断・がん検診」への期待が非常に高い。
⇒**健康診断・がん検診を受けやすい仕組みづくりや、より快適に健診を受けてもらうための施設整備が求められる。**

【子育て支援への取り組み】

- 「相談体制の強化」や「交流の場所や機会の提供」への期待が高い。
- 妊産婦支援については、「産後ケア（母の休息と育児相談）」や「妊婦や夫に対する教室」への期待が高い。
⇒**現状よりも充実した相談体制を構築するとともに、気軽に相談を受けやすい場所の確保やプライバシーに配慮した環境の整備が求められる。**
また、子育て世代の交流、妊婦や夫向けの教育・不安解消等を推進できるようなイベント・教室等の積極的な開催に必要な交流スペース・ホールの整備が求められる。

【休日夜間急病診療所の取り組み】

- 軽症時の第一選択として、休日夜間急病診療所がおおよそ認知されているが、一方で市民病院への受診傾向も多く見受けられる。
⇒**一部の住民は、設備面への期待や休日夜間急病診療所に対する認知不足から市民病院を選択している。救急医療への理解及び休日夜間急病診療所の存在に関し、継続的にアピールや啓蒙活動を実施していくことが求められる。**

3. 総括

■ 豊川市総合保健センター（仮称）整備に向けた総括

【希望する施設】

- 「相談のための総合窓口や専門的な相談窓口」、「こどもが遊べる空間・スペース」、「散歩コースや遊具・健康器具」に対する期待が高い。また、自由意見でもこどもが遊べるスペースを求める意見が見受けられる。
（豊橋市の「ココニコ」を例に出す方が多い）
⇒アンケートで抽出された期待される機能に応じた施設・設備への期待が大きく、健康づくりや子育て支援を充実させるための設備やスペースの整備が求められる。

【旧町保健センターにおける機能の継続】

- 旧町保健センターまたは同地域で保健事業を継続して欲しいという意見が約6割あり、「健康診断・がん検診」については身近な場所で行いたいというニーズが強い。また、自由意見でも近隣に保健センターや相談できる場所を望む意見が見受けられる。
⇒「健康診断・がん検診」「相談事業」については、旧町保健センターの近隣住民に配慮した場所での継続した実施が求められる。

【交通手段】

- 9割以上が「自動車」での利用を想定している。また、自由意見で駐車場に関する意見が見受けられる。
⇒1日あたりの利用者数に配慮した駐車台数の確保や高齢者への利用を考慮した駐車しやすい駐車場の整備が求められる。